



京都 在宅医療

検索

※今後の研修会開催予定一覧です。演題名等詳細は順次、京都医報、当センターホームページでご案内いたします。

申込締切	講師・テーマ・対象	申込フォーム
<p>令和6年4月5日(金) 正午 申込締切</p> <p>動画は 配信期間：令和6年4月5日(金) 23:59まで</p>	<p>京都府医師会 理事・医療法人同仁会(社団) 介護事業部 事業部長統括医師・医療法人同仁会(社団) 京都九条病院 精神科・心療内科・京都市唐橋地域包括支援センター センター長 西村 幸秀 氏</p> <p>テーマ 「在宅生活を支えるための意思決定支援 ～認知機能検査・成年後見制度・多職種協働～」 対象：医師・多職種</p>	
<p>令和6年5月15日(水) 正午 申込締切</p> <p>動画は 配信期間：令和6年5月15日(水) 23:59まで</p>	<p>洛和会音羽病院 院長補佐 総合内科 部長 谷口 洋貴 氏 洛和会音羽病院教育センター センター長 松田 かがみ 氏 まつだ在宅クリニック 院長</p> <p>テーマ 「在宅で腹痛患者さんを ポケットエコーで診断してみよう ～POCUSの概念を利用して～」 対象：医師</p>	
<p>令和6年6月3日(月) 正午 申込締切</p> <p>動画は 配信期間：令和6年6月3日(月) 23:59まで</p>	<p>京都府立医科大学大学院医学研究科疼痛・緩和医療学教室 教授 天谷 文昌 氏 京都府立医科大学 教育センター長 大西 佳子 氏 京都市立病院緩和ケア科 部長 永井 義浩 氏 京都府立医科大学 疼痛・緩和ケア科 病院助教</p> <p>テーマ 「緩和ケアの実際」 対象：医師</p>	
<p>令和6年6月3日(月) 正午 申込締切</p> <p>動画は 配信期間：令和6年6月3日(月) 23:59まで</p>	<p>京都府立医科大学リハビリテーション医学教室 集学的身体活動賦活法開発講座 准教授 沢田 光思郎 氏 京都府立医科大学リハビリテーション医学教室 講師 河崎 敬 氏 京都府立医科大学リハビリテーション医学教室 助教 垣田 真里 氏 京都府立医科大学リハビリテーション医学教室 京都府立医科大学附属病院リハビリテーション部 講師 大橋 鈴世 氏</p> <p>テーマ 「次の一手～リハビリテーション診療の視点～」 対象：医師・多職種</p>	

在宅医療に関する質問があればお問い合わせください。サポートセンターと保険医療課で連携し回答いたします。

お問い合わせ、ご意見及びご感想は
京都府医師会在宅医療・地域包括ケアサポートセンター

〒604-8585 京都府京都市中京区西ノ京東桐尾町6番地 京都府医師会館3階
tel.075-354-6079 fax.075-354-6097

京都府医師会

在宅医療・地域包括ケア サポートセンター news

Vol.50

2024年3月15日

京都府医師会在宅医療・地域包括ケアサポートセンター
〒604-8585 京都府京都市中京区西ノ京東桐尾町6番地 京都府医師会館3階 tel.075-354-6079 fax.075-354-6097

※当センターホームページにてバックナンバーがお読みいただけます。

Menu

- ◆第3回 京都在宅医療塾 実践編 開催報告 (P.1)
- ◆第3回 京都在宅医療塾 探究編 開催報告 (P.2) ◆第4回 総合診療力向上講座 開催報告 (P.2)
- ◆第3回 総合診療力向上講座 開催報告 (P.3)
- ◆【特集】在宅療養あんしん病院登録システム～かかりつけ医機能をバックアップ!～ (P.3)
- ◆現在視聴できるオンデマンド配信一覧 (P.4)

第3回 京都在宅医療塾 実践編 開催報告

令和6年2月7日(水)に、洛和会音羽病院 院長補佐 総合内科 部長 洛和会音羽病院教育センター センター長 谷口 洋貴 氏と、まつだ在宅クリニック 院長 松田 かがみ氏を講師に迎え「在宅で心臓疾患の患者さんをポケットエコーで診断してみよう!～POCUSの概念を利用して～」と題した研修会を基礎講義と実技演習を交えて開催し、合計20名の医師にご参加いただきました。



洛和会音羽病院 院長補佐 総合内科 部長 谷口 洋貴 氏
洛和会音羽病院教育センター センター長



まつだ在宅クリニック 院長 松田 かがみ 氏

実技演習は4ブース準備し、実際にポケットエコーを当てて見え方を確認していただきました。講義後に演習をする事で、学びが深まったとお声をたくさんいただきました。

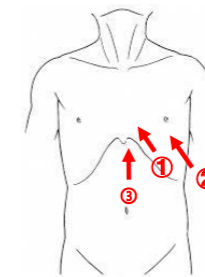
● 受講者の声 ●
～受講後アンケートより抜粋～

- 座学と実践の両方がありわかりやすかった。
- モデルさんのおかげで実践がスムーズだった。
- 解説が丁寧だった。

◆ 心臓疾患の患者さんをエコーで診断する場合：FoCUSのアプローチ ◆

FoCUSのアプローチ

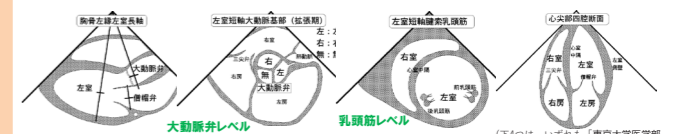
- ・傍胸骨左縁 1. 左室長軸断面 (①)
2. 左室短軸断面 (①)
- ・心尖部 3. 四腔像 (②)
- ・心窩部 4. 四腔像
5. 下大静脈(IVC) (③)



“3つのアプローチ、5つの断面像”

FoCUSのアプローチ

- ・傍胸骨左縁 左室長軸断面
左室短軸断面
- ・心尖部 四腔像
- ・心窩部 四腔像、下大静脈(IVC)



(下4つは、いずれも「東京大学医学部附属病院検査部」から)



令和5年12月2日(土)、京都府立医科大学リハビリテーション医学教室の先生方を講師に迎え「次の一手～リハビリテーション診療の視点」と題した研修会をWeb配信と参集型でのハイブリッド方式にて開催し、95名の医師と28名の多職種の方にご参加いただきました。

次の一手～リハビリテーション診療の視点～

Q1 在宅で必要なリハビリテーションの知識とは

Q2 在宅でリハビリテーションを始めることになったら

京都府立医科大学
リハビリテーション医学教室
集学的身体活動賦活法開発講座
准教授

澤田 光思郎 氏



● 受講者の声～受講後アンケートより抜粋～ ●

- リハビリテーションの全体像が整理できた。(医師)
- 主治医が在宅のことを考えて指示書を記載してくれるととても助かる。(理学療法士)
- リハビリ職へ必要な情報提供について、考えていきたいと思った。(ケアマネジャー)

Q5 「むせやすい」と言われたら

Q6 がん患者のかかりつけ医となったら

京都府立医科大学
リハビリテーション医学教室
助教

垣田 真里 氏



● 受講者の声～受講後アンケートより抜粋～ ●

- 府立医大での消化器がんの術前リハビリテーションの研究経過が聞けてよかった。(医師)
- 嚥下の評価やポジショニングが理解できた。(看護師)
- 廃用予防、緩和ケアだった「がんリハ」のイメージが進行予防につながるとう勉強になった。(作業療法士)

Q3 「疲れやすい」と言われたら

Q4 心不全患者のかかりつけ医となったら

京都府立医科大学
リハビリテーション医学教室
講師

河崎 敬 氏



● 受講者の声～受講後アンケートより抜粋～ ●

- フレイル、サルコペニアの理解が進み、筋力増強訓練は大変参考になった。(医師)
- 心機能低下の利用者さんのリハビリ、METSについて理解できた。(理学療法士)
- 心不全の運動負荷の話がわかりやすかった。(作業療法士)

Q7 「あしが痛い」と言われたら

Q8 「よく転ぶ」と言われたら

京都府立医科大学 リハビリテーション医学教室
京都府立医科大学附属病院
リハビリテーション部
講師

大橋 鈴世 氏



● 受講者の声～受講後アンケートより抜粋～ ●

- 動物進化との対比から始められた説明は説得力があった。(医師)
- 転倒防止の観点からリハビリテーションの効用が理解できた。(ケアマネジャー)
- 足の運動学的内容がわかりやすく今後の臨床に活かせる。(作業療法士)

第4回 総合診療力向上講座 開催報告

令和6年2月17日(土)に、京都府立医科大学 大学院医学研究科皮膚科学 教授 加藤 則人 氏を講師に迎え「コモンな皮膚疾患の診断と治療」と題した研修会を開催しました。様々な症例とともに「コモンな皮膚疾患」の診断と治療についてわかりやすく丁寧にお話しいただき、医師178名にご参加いただきました。



加藤 則人 氏

コモンな皮膚疾患の診断と治療

接触皮膚炎・アトピー性皮膚炎・脂漏性湿疹・皮膚掻痒症・蕁麻疹・虫さされ・毛虫(毒蛾)皮膚炎・白癬症と皮膚カンジダ症・薬疹・ステブンス・ジョンソン症候群(SJS)・中毒性表皮壊死融解症(TEN)・帯状疱疹・蜂窩織炎・丹毒・伝染性膿痂疹(とびひ)・基底細胞がん・悪性黒色腫など

● 受講者の声～受講後アンケートより抜粋～ ●

- 疾患の分類やコモンな皮膚疾患を多くの画像とともにそれぞれの特徴を教示していただき大変勉強になった。
- このような時には皮膚科専門医にご紹介というポイントもわかりやすかった。
- 内科外来でも皮膚疾患患者は多いので日常診療に役立つ内容であった。
- 接触皮膚炎、アトピー性皮膚炎、脂漏性皮膚炎、蕁麻疹の治療や考え方が非常に勉強になった。



令和5年11月25日(土)に、京都府立医科大学大学院医学研究科疼痛・緩和医療学教室 教授 / 京都府立医科大学 教育センター長 天谷 文昌 氏、京都市立病院緩和ケア科 部長 大西 佳子 氏、京都府立医科大学 疼痛・緩和ケア科 病院助教 永井 義浩 氏を講師に迎え「緩和ケアの実際」と題した研修会を開催しました。医師132名にご参加いただきました。



がん疼痛の緩和ケア

京都市立病院緩和ケア科 部長

大西 佳子 氏



疼痛以外の身体症状の緩和ケア

京都府立医科大学
疼痛・緩和ケア科 病院助教

永井 義浩 氏

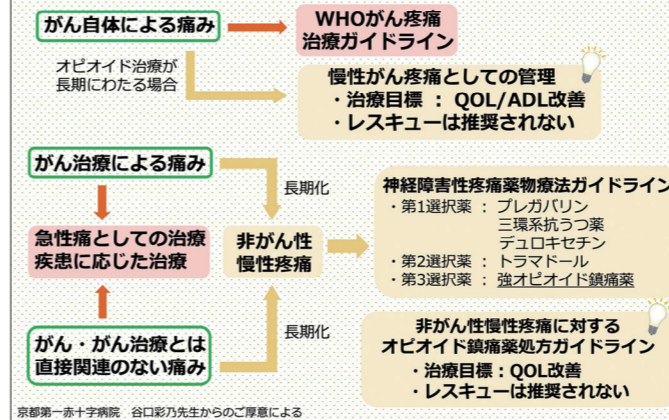


京都における緩和ケアのとりくみ

京都府立医科大学大学院医学研究科
疼痛・緩和医療学教室 教授 /
京都府立医科大学 教育センター長

天谷 文昌 氏

がん患者の痛み治療



まとめ

- ・倦怠感、食欲不振、呼吸困難の説明をした
- ・倦怠感は軽視されがちで原因精査をしっかりと行ったうえで治療を行う
- ・食欲不振では早期満腹感と悪液質に対する治療を考慮する
- ・呼吸困難では非薬物療法が優先される
- ・いずれも薬物療法・非薬物療法を組み合わせることが重要で多職種との連携が必須である

● 受講者の声～受講後アンケートより抜粋～ ●

- 疼痛以外の緩和ケアについて学習できた。
- 具体的な処方、非麻薬処方について学べた。
- 疼痛、倦怠感に対する具体的な対応に役立つ内容で理解が深まった。

特集

在宅療養あんしん病院登録システム

かかりつけ医機能をバックアップ!



令和5年度の「京都府医師会 在宅医療・地域包括ケアサポートセンター news」では、3回にわたり、「在宅療養あんしん病院登録システム」の特集をさせていただきました。

vol47 在宅療養あんしん病院システムの説明、利用の流れや活用状況、登録申請書の入手方法

vol48 Web 申請手続きの手順

vol49 かかりつけ医が「あんしん病院」を活用された事例の紹介

あんしん病院登録者数の令和4年、令和5年比較(1月～12月)

令和4年：772人

令和5年：920人

148人の増加!

サポートセンター news であんしん病院が特集された7月以降、登録者数が増加しました。誠にありがとうございます。

今後ともあんしん病院登録システムの活用をお願いいたします。

登録申請書の入手方法・問い合わせ先
あんしん病院への登録申請書が必要な時や、ご不明点は下記までご連絡ください。

京都地域包括ケア推進機構

〒604-8418 京都府京都市中京区西ノ京
東桐尾町6番地 京都府医師会館703

TEL：075-803-1037 (在宅療養あんしん病院登録システム
担当直通)

FAX：075-822-3574

京都府医師会 在宅医療・地域包括ケア対策担当理事の小柳津です。先日、在宅患者さんをあんしん病院に登録しました。本誌 Vol48にてご紹介した Web 申請の手順に沿って、スムーズに登録することができました。

4月以降、勤務医の先生方の「働き方改革」が始まります。

救急体制の乱れが一部に生じて、夜間、在宅患者さんの急な入院依頼が滞ってしまうことが危惧されます。事前にあんしん病院に登録することで、体調が悪くなった時でも登録病院で早めの対応をしていただけるので安心に繋がると思います。早め早めの対応と、重症化を防ぐひと工夫を心掛けていきたいと考えています。



京都府医師会 在宅医療・
地域包括ケア対策 担当
小柳津 治樹 理事